



今月の主な目次

- 今後の相場動向について
- 良質な自給飼料確保のために簡易更新を
～事例のご紹介～

- 北海道統括支店 道央地域より新年のご挨拶
- 北海道統括支店 道東地域より新年のご挨拶
- 厳寒期に耐える代用乳の給与方法と飼育環境について

謹 賀 新 年

平成22年の新春を迎え、皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より弊社事業につきまして、特段のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

昨年のわが国経済は、世界経済が世界同時不況の最悪期から脱しつつある中で緩やかな回復基調にありましたが、厳しさを増す雇用・所得情勢や円高懸念などを背景に今年度も回復のペースは緩やかなものにとどまるものと予測されております。

一方、わが国の農業、酪農・畜産経営を取巻く環境は、中期的な穀物需給の逼迫や生産コストの上昇圧力が強まる中で依然として厳しいものがあり、また、食料自給率の向上や食料安全保障に係る議論が進められ、食の安全・安心とともに食料の安定的確保に対する国民の関心が高まってきております。このような中、自給飼料の増産や未利用副産物の活用など国産資源をベースに置いた経営基盤の強化とともに、環境への配慮も含めた持続型社会の構築へ向けた取組みなど、農業や酪農・畜産業界が果たすべき役割は大きいものがあると言えます。

弊社は創業者である黒澤西藏翁が提唱した「健土健民」を企業理念に、牧草・飼料作物種子や乳牛用・肉牛用の配合飼料製品、サイレージ用添加剤などの酪農畜産分野を中心に、緑肥作物や野菜種子また、芝草種子・緑化技術などの環境緑化分野まで幅広い分野で事業を展開してまいりましたが、昨年10月に弊社の親会社であります雪印乳業(株)と日本ミルクコミュニティ(株)が経営統合し、新たに雪印メグミルクグループの一員としてのスタートを切らせていただきました。

弊社は、乳製品・食品を主体とする当グループの中であって、食や農業の基本的な資材であります種子や



飼料などの生産資材を開発・提供させていただく企業として、また、より生産現場に近い企業として当グループ唯一の存在であると自負しております。今後ともこの立場を活かして、これまで同様に生産現場の皆様にお役に立てる製商品や技術の開発・提供を進めてまいりますとともに、食品企業グループとしてのネットワークを活かして、より消費サイドに近いポジションでの取組みや提案も進めていきたいと考えております。

「健土健民」の企業理念の下、長年に亘って培ってきた技術やノウハウを活かして、日本の食・農業・環境への貢献、資源循環型・持続型社会の実現へ向けて取り組んでいきたいと考えております。本年も農業、酪農・畜産の生産現場から幅広い生活分野に至り、数多くの商品と技術を取り揃え、皆様のご用命をお待ち致しております。

新年を迎えるにあたり、皆様のご健勝と益々のご繁栄を心からご祈念申し上げ、ご挨拶と致します。

平成22年 元日

雪印種苗株式会社

代表取締役社長 掛村 博之